

プログラム詳細

6月2日(土) 10:00~12:00 分科会・パネル

●パネルA 米国におけるヒスパニック／ラティーノの階層分化と意識変化 B 44 教室

コーディネーター 小池康弘 (愛知県立大学)
司会 牛田千鶴 (南山大学)
発表 中川正紀 (フェリス学院大学) 南カリフォルニア地域におけるラティーノ住民の
階層分化と移民観に関する一考察
小池康弘 (愛知県立大学) キューバ系移民の政治意識の多様化をどう見るか
北條ゆかり (大阪工大摂南大学) 米墨関係とメキシコ系移民の政治意識

●パネルB ウリベ政権下コロンビアの政治・社会変動 B 45 教室

コーディネーター・司会・コメント 二村久則 (名古屋大学)
発表 幡谷則子 (上智大学) ウリベ政権期の社会問題
— IDP(国内避難民)問題と民衆主導の和平運動 —
桑原小百合 (国際金融情報センター) 経済復調の背景と今後の課題
千代勇一 (上智大学大学院生) ウリベ政権下における和平プロセスから見た
パラミタリズム

◆分科会 1 文化人類学 B 46 教室

司会 杓谷英樹 (中部大学)
発表 鳥塚あゆち (東海大学大学院研究生) 土地区分政策とアンデス牧畜の現在
— ペルー、クスコ県、ワイリャワイリャ村の事例より —
増山久美 (拓殖大学非常勤講師) 「ティアンギス」と地域社会
— メキシコ市大衆地区の青空市と人々のかかわりについての一考察 —
小林貴徳 (神戸市外国語大学大学院生) 社会的動態としての聖人崇拜
— メキシコ、ゲレロ州先住民農村の事例から —
エリカ・ロッシ (一橋大学大学院生) Embujo『魅惑』: 日本でクリオヨ音楽が流れる
— 音楽をとおしてペルー移民の実践を考える —

◆分科会 2 文化 B 47 教室

司会 浅香幸枝 (南山大学)
発表 長野太郎 (清泉女子大学) 20世紀アルゼンチンにおける伝統主義運動とダンス
田沼幸子 (法政大学等非常勤講師) 革命キューバの民族誌的研究について
原田金一郎 (大阪経済法科大学) ビジャ・エルサルバドルのある拡大家族
浅倉寛子 (お茶の水女子大学) エンパワーメントの概念から見る母性の変容
— トランスナショナルな移動を経験するミステカ女性の事例から —

6月2日(土) 14:00~16:00 分科会・パネル

●パネルC 中央アンデスにおける死の表象 B 44 教室

コーディネーター・司会 加藤隆浩 (南山大学)
発表 渡部森哉 (南山大学) 先スペイン期アンデスにおける埋葬形態に関する一考察
加藤隆浩 (南山大学) 中央アンデスの2つの他界観
河辺真次 (三重大学非常勤講師) 民族誌的画像資料に見る中央アンデスの死生観
— 幼児埋葬儀礼 Wawa Pampay を手がかりとして —

●パネルD ラテンアメリカの一次産品輸出産業の新展開 B 45 教室

コーディネーター 星野妙子 (アジア経済研究所)
司会 宇佐見耕一 (アジア経済研究所)
発表 小池洋一 (立命館大学) ブラジルにおける大豆産業の発展: アグリビジネスと開発の持続性
星野妙子 (アジア経済研究所) 貿易自由化時代におけるメキシコ豚肉産業の生き残り戦略
新木秀和 (神奈川大学) エクアドルのバナナ産業における新しい動向
北野浩一 (アジア経済研究所) チリの紙・パルプ産業: 垂直統合による競争優位の獲得
清水達也 (アジア経済研究所) ペルーのアスパラガス輸出の拡大と担い手の変化

◆分科会 3 文化政策 B 46 教室

司会 牛田千鶴 (南山大学)
発表 生月亘 (関西外国語大学短期大学部) 植民国家における先住民の文化顕示(1):
エクアドルの異文化間・二言語教育について
池田光穂 (大阪大学) 植民国家における先住民の文化顕示(2):
グアテマラの先住民言語と社会のダイナミズム
片桐瑞季 (筑波大学大学院生) メキシコのインターカルチュラル政策

◆分科会 4 政治 B 47 教室

司会 小池康弘 (愛知県立大学)
発表 山本悦子 (名古屋大学大学院生) 2006年大統領選挙から見るメキシコの問題点
舟木律子 (神戸大学大学院生) 地方分権改革が住民の政治参加に及ぼした影響と
左派の台頭 — ボリビア・エルトルノ市を事例に —
渡辺暁 (慶應義塾大学等非常勤講師) 「民主化」後のメキシコ地方政治:
ユカタン州の事例より
佐藤美由紀 (杏林大学) ブラジル憲法における刑事裁判諸原則
ロメロ・ホシノ・イサミ (東京大学大学院生)
El lugar de Belice dentro la política exterior de México

6月2日(土) 16:30~17:30 記念講演 B 11 教室

講演者 Don Miguel Ruiz-Cabañas Izquierdo (駐日メキシコ大使)
<予定>

6月2日(土) 17:30~18:30 総会 B 11 教室

6月2日(土) 18:30~20:00 懇親会 教職員食堂

6月3日(日) 10:00~12:00 分科会・パネル

●パネルE 現代ブラジル3大都市における低所得者層共同体比較研究 B 44 教室

コーディネーター 住田育法 (京都外国語大学)

コメンテーター 小池 洋一 (立命館大学)

発表 山崎 圭一 (横浜国立大学) ブラジル諸都市の住宅財政の近年の動向

奥田 若菜 (大阪大学大学院生) 社会の暗部か、中心か

— ブラジル低所得者層の経済活動と活動地域の変化 —

近藤エジソン謙二 (筑波大学) 警察と麻薬商人の抑圧、政府や非営利団体や宗教団体などの

混同する支援の狭間で活躍するリオデジャネイロ・スラム街のヒーロー達

萩原 八郎 (四国大学) インターネットを通じたファヴェーラ研究の可能性と限界

●パネルF 多文化共生の諸相 B 45 教室

— ラテンアメリカと日本の日系ラテンアメリカ人社会の事例から —

コーディネーター・司会 浅香幸枝 (南山大学)

発表 寺澤 宏美 (名古屋大学大学院生) 在日日系ペルー人の情報収集

— 『外国人相談』の事例から —

アルベルト松本 (神奈川大学非常勤講師) アルゼンチンの多文化共生

— 『多人種のるつぼ』に含まれていなかった隣国移民に関する一考察 —

浅香 幸枝 (南山大学) 日本の多文化共生政策と課題

◆分科会 5 植民地時代 B 46 教室

司会 田中敬一 (愛知県立大学)

発表 敦賀 公子 (慶應義塾大学非常勤講師) 多言語社会の中米におけるナウア系言語の役割

— 17世紀エル・サルバドルのピピル語文書を中心とする分析から —

乗 浩 子 植民地ブラジルのユダヤ教徒 — 大西洋貿易と異端審問をめぐって —

長尾 直洋 (京都外国語大学大学院生) 植民地期南米を巡る他者表象に関する一考察

— 図像資料へのアプローチ —

小山 朋子 (大阪外国語大学非常勤講師) ポトシ鉱山のミタ労働にかかわる

先住民指導者層の動態に関する一考察

6月3日(日) 10:00~12:00 分科会・パネル

◆分科会 6 社会 B 47 教室

司会 水戸博之 (名古屋大学)

発表 安部 寛尚 (大阪外国語大学非常勤講師) ニコラス・ギジェンは黒いオルフェか?
— ギジェンの「黒人主義」について、ラングストン・ヒューズの「影響」とエメ・セゼールの
ネグリチュードとの比較考察 —

金澤 直也 (東京大学大学院生) ILO169条と逃亡奴隷の先住性をめぐる考察
— ガリフナの事例を中心にして —

茅根 美保 (お茶の水女子大学) 病気/治療で示される社会関係

— コスタリカ先住民ブリブリにおけるシナの治療行為から —

6月3日(日) 13:00~14:00 基調講演 B 11 教室

講演者 田中 道子氏 (El Colegio de México)

6月3日(日) 14:00~16:30 シンポジウム B 11 教室

メキシコに関する最近の研究の動向

司会 高山 智博 (メキシコに関する人類学的研究の回顧)

パネリスト 井上 幸孝 (立命館大学) 植民地期メキシコ中央部の先住民社会に関する
エスノヒストリー研究

立岩 礼子 (京都外国語大学) テクノロジーと歴史の再構築

禪野 美帆 (関西学院大学) 変わりゆく文化人類学の焦点

— メキシコを対象とした研究を例に —

岸川 毅 (上智大学) 日本のメキシコ政治研究 — 回顧と展望 —

安原 毅 (南山大学) 日本におけるメキシコ経済研究の展望

6月2日(土)・3日(日) 10:00~16:30 写真展示とビデオの上映 B 43 教室

南山大学人類学博物館所蔵「友枝啓泰アンデス民族学画像コレクション」

ビデオ 桜井三枝子 (大阪経済大学) 第3回先住民サミットから見える風景